

# Q DPAAによって、 3 どのような健康影響があるのでしょうか？

一般に言われるヒ素の毒性と、  
DPAAの毒性は違うのでしょうか。

ヒ素を含む物質には非常に多くの種類があり、その物質の特性により化学的な性質や毒性が異なります。一般に言われる「ヒ素の毒性」は、無機ヒ素化合物のうち毒性の強いヒ酸、亜ヒ酸などを指すものと考えられます。

一方、DPAAは安定な化学物質で、体の中でもほとんど変化することがないと考えられています。

無機ヒ素化合物と、有機ヒ素化合物の一つであるDPAAとでは、毒性は異なるのではないかと推測されています。

現在は症状がなくても、将来、  
DPAAの健康影響が現れることもあるのでしょうか。

DPAAを含む井戸水の飲用を止めれば、体の中にあるDPAAのほとんどは便や尿などから短期間のうちに排出されると考えられています。時間の経過とともに、体の中のDPAA濃度は更に低下していくと推測されています。

いずれにしても、DPAAの摂取を中止した後に長期間が経過した際の健康影響（晩発性の影響）については、今後の調査研究による解明を待つ必要があります。



DPAAの摂取によって  
将来がんになるのでしょうか。

DPAAの健康影響についてはよく分かっていないため、晩発性の影響についてもいまだ明らかではありません。無機ヒ素化合物については、長期間摂取することによる「がん」との関係が示唆されておりますが、アルセノベタインなどの毒性のない有機ヒ素化合物については、「がん」との関係はないと考えられています。現段階においては、DPAAと「がん」との関係はよくわかっておりません。今後とも、関係地方公共団体と協力しながら研究を進めることによって、皆さんの不安の解消に努めていきたいと考えております。



健康診査の結果、脳血流の低下が指摘されました。  
どのような健康影響があるのでしょうか。

単光子放出断層撮影法（SPECT）による脳血流シンチグラフィ検査の結果、脳血流の低下が認められた場合であっても、多くの方には症状はみられません。現時点では脳血流の低下がただちに病気に結びつくものではないと考えられます。また、個人差もあるため一概には言えませんが、脳血流の低下は徐々に改善していくのではないかと考えられています。

環境省研究班では、どのくらい脳血流が低下すれば病気に結びつく異常な所見なのか判断できるようにするため、引き続き、研究を進めていきます。

なお、今のところ、特に症状がなければ、皆さんの健康に特段の問題はないと考えられておりますが、緊急措置事業による健康診査によって、引き続き皆さんの健康状態の確認をしていきたいと考えております。



Q 4 どんなことに  
気を付けて生活すれば  
良いのでしょうか？

DPAAが体に入らないようにするために、井戸水の飲用自粛をお願いしている地域においては、井戸水を飲まないことが何より大切です。井戸水の使用はできるだけ避け、水道水に切り替えていただくことをお願いします。

やむを得ず、井戸水を使用する場合の注意点は以下に示したとおりです。

### 井戸水を使用する場合の注意点

- ①井戸水を飲まないことが何より大切です。
- ②入浴への使用も控えることが望めます。  
やむを得ず、入浴に井戸水を使用する場合には、シャワー、かけ湯の活用や、タオル等で素早く拭き取るなどにより、井戸水に直接触れる時間をできるだけ短くするよう心がけて下さい。
- ③飲用、入浴以外の生活用水として井戸水を使用する場合、井戸水に直接触れる時間を短くするよう心がけて下さい。

※井戸水の使用はできるだけ避け、水道水に切り替えていただくようお願いします。



Q 5 緊急措置事業とは  
どのような事業  
なのでしょう？

### 緊急措置事業とは

正式には「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業」と言います。平成15年6月の政府の閣議了解に基づいて、DPAAの曝露が確認された方を対象に、環境省が茨城県に事務の一部を委託して実施しております。(次ページ参照)

